

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年12月12日

計画の名称	福井県における安全で安心な都市公園づくり												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	福井県												
計画の目標	良好な都市環境の形成を図るため、子どもや高齢者など誰もが快適かつ安全で安心して利用できる都市公園の機能の向上を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	440	A	440	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	県営都市公園の年間利用者数の増加：16.4万人(平成24年度) 16.9万人(平成30年度末) 県営都市公園の年間利用者数 H24から5年間で3%増加(H24公園利用者数 奥越ふれあい公園：36,362人 若狭総合公園：39,062人 トリムパークかなづ：86,757人 臨海中央公園：1,726人)	164000人/年	人/年	169000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 福井県土木部都市計画課および各公園指定管理者	事後評価の実施時期 平成31年度
	公表の方法 福井県ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に老朽化施設の更新、修繕を実施することにより、安全な公園運営を図った。 定量的指標を概ね達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> トリムパークかなづの多目的体育館はH30に開催した福井国体・障スポの会場として活用された。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、公園施設長寿命化計画に基づき、適正な維持管理を行い、安全で安心な公園環境の確保に努める。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公園の利用者数	
	最終目標値	169000人/年
	最終実績値	168250人/年